Changemaker journal

2026
10
VOL.14

本校は、「時代の変化・地域の課題に対応した新たなタイプの学校」として、2023年4月にリニューアルしました。
この通信では、犬総の特色ある科目である、1年生「産業社会と人間」2年生「地域探究Ⅰ」3年生「地域探究Ⅱ」を中心に、校内外でのさまざまな学びの様子をお届けします。

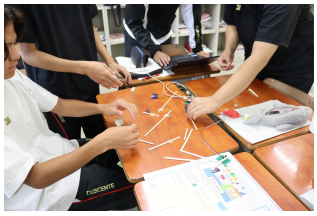
産業社会と人間～1年～

科目選択や将来の進路について考えるため、興味・関心に応じて選択した分野別体験・見学を3回にわたり実施しました。

第1回

介護

ぬく森・第二

プログラミング

ifLink オープンコミュニティー

まちづくりと観光


JTB

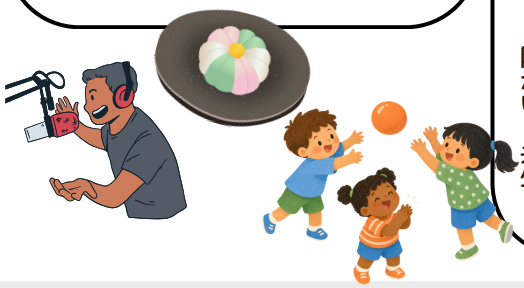
第2回

起業

愛知県立大学

DX

ソフトバンク



第3回

多文化共生

シェイクハンズ

デザイン

名古屋国際工科専門職大学

障がいと共生

小牧特別支援学校

８つのテーマのもと、14の企業・団体の皆様にご協力いただき、事前学習＆体験・見学学習を実施しました。
豪雨の影響で事前授業が中止となるハプニングもありましたが、企業・団体の皆様の柔軟なご対応により、無事に体験・見学を行うことができました。生徒たちは、普段の学校生活では触れることのできない職業の現場や専門的な仕事に触れ、働くことの意義や社会とのつながりについて学ぶ貴重な機会となりました。今回の経験を今後の探究活動や進路選択に生かし、そこで感じた疑問や気づきを大切にしながら、自らの学びをさらに深めていってほしいと思います。

地域探究Ⅰ～2年～

各チームの探究活動は徐々に具体化し、地域との関わりを持ちながら実践へと踏み出す班も増えてきました。一方で、アイデアをどのように形にしていくか悩む班もありますが、「なぜそのテーマに取り組むのか」「誰のために活動するのか」を教員や講師の方々との対話を通して見つめ直しながら、主体的に探究を進めています。
今後は、活動を通して仮説を検証したりしながら、地域課題の解決や地域の魅力向上につながる提案へと発展させていきます。生徒たちがどのような気づきや学びを得ていくのか、今後の成長が楽しみです。

起業

げんこつプロジェクト


犬山茶プロジェクト

シェアエコ

ピアノスキルシェア


AI


ソフトバンクさんと壁打ち

地域探究Ⅱ ～3年～

自分の「好き」や興味と地域課題を結び付けた、一人ひとりの探究活動が、計画書に基づいて続々とスタートしています。

音楽でつながる高齢者交流プロジェクト



観光MAP×防災MAP 避難所の快適さについて



Rubbish Design ペットボトルスノードーム作り



各個人で設定したテーマに対して、主体的に活動を進めています。夏休み期間中にも積極的に探究活動に取り組んだ生徒たちは、現地での活動や取材を通して新たな人々と出会い、そのつながりから活動の幅をさらに広げています。また、一度の実践で終わることなく、何度も試行錯誤を繰り返しながら、自分たちの探究をより深く掘り下げている様子が見られます。一方で、最近活動をスタートさせた生徒たちは、それぞれのペースで着実に準備を進めています。今後はマルシェへの出展や各種大会などへのエントリーなども予定されており、生徒たちがどのような成果を生み出していくのか楽しみです。
探究活動では、アイデアを形にするための事前準備や計画も大切です。同時に、「誰のために行うのか」「自分はなぜ取り組みたいのか」という目的を見失わずに活動を進めることが求められます。地域や社会とのつながりを意識しながら、自分自身の思いや願いも大切にし、これからも一歩ずつ探究を深めていってほしいと思います。

キャリア探究

3年生を対象に、キャリア探究をテーマに全7回の各講座がスタートしました。

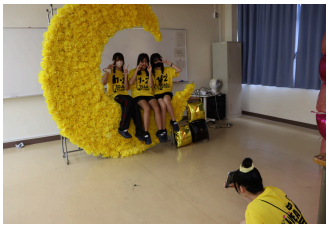






第1回は、本校の地域連携コーディネーターであり、キャリアコンサルタントとしても活動されている古田愛子氏を講師に迎え、「現代社会とキャリアオーナーシップ」をテーマに講話を実施しました。
講話では、変化が激しく先行きの見通しにくい現代社会の特徴について学ぶとともに、進路や就職先を誰かに決めてもらうのではなく、自らが人生のハンドルを握り、主体的に選択していくことの大切さについて考えました。
また、価値観シートを活用しながら、自分が大切にしていることや譲れない思いを整理し、自身の価値観を見つめ直す機会となりました。今後のキャリア形成や進路選択に向けて、自分らしい生き方や働き方について考える第一歩となる講座となりました。

犬総文化祭









令和8年10月9日（金）に東京ビッグサイトで行われた「全国社会福祉法人経営青年会×学生ヒーローズ in H.C.R ～ 未来を動かす若者たちと考える、地域共生社会 ～　」において、社会福祉ヒーローズの５人が、全国の福祉関係者の前で活動発表を行いました。ヒーローズの５人は、「世代や福祉の垣根を超え、人と人とのつながりをつくる！」を目標に、ぬく森さんで行われた夏祭りで、プロジェクションマッピングを披露しました。（この活動の様子は、10月末にYouTubeで公開予定ですので、公開後ぜひご覧ください。）何度も打ち合わせをおこない、夏休みも学校に出てきて作業をし、テスト明けには業後に残ってプレゼンの練習もし、とても熱心に取り組んでくれました。応援してくれた皆さん、本当にありがとうございました。そして何よりヒーローズの5人、本当にお疲れ様でした。この経験を大切にしてください。



三浦正文先生